

発行：社会福祉法人 多摩養育園 編集：広報紙編集委員会
〒192-0055 東京都八王子市八木町8-11 TEL 042-623-3388・FAX 042-623-3389
ホームページ：https://www.tamayouikuen.net/



SDGs 誰一人も取り残さない世界へ⑫

光明家族

社会福祉法人 多摩養育園
理事長 足利正哲

福祉施設の職員採用も
年々厳しくなっているが
今年も よい職員が集まり
令和7年度が スタートした
毎年のことであるが 新たな出会い
ご縁に 感謝する

そして思う

世界の人口は 数年前に80億人を突破したというが
私たちは 生涯でどれだけの人と 出会うのかと

諸説あるが 一生の間に
何らかの接点を持つ人は

約3千人らしい

だが 出会いは 自分では決めることができない

摩訶不思議なもの

だからこそ 今いる人 これから出会う人に感謝したい

利用者 園児 保護者 後援会 同窓会 など
法人には沢山の 人々がいる

光明にかかわる人は皆家族

あなたに会えて よかった

あなたがいてくれて よかった

それが

光明家族だと

【アローレ八王子】
八王子を拠点として活動
するサッカークラブチーム。地域
密着型のスポーツクラブとし、将
来的なJリーグへの参入に向け活動
されており、八王子市観光PR特使
にも任命されている。



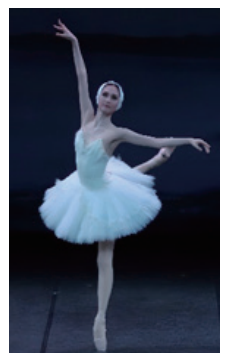
第四次「福祉大使」任命！



アローレ八王子
代表 紙本氏



バレエダンサー
深沢祥子氏



【バレエダンサー深沢祥子(ながこ)様】
八王子市を拠点とする、川口ゆり子バレエスクール
にて今村博明、川口ゆり子に師事。新国立劇場バレ
エ団、Volks Theater Rostock（ドイツ）を経て
バレエシャンプルウェスト（川口ゆり子バレエスク
ール母体）入団。子ども達に本物のバレエという
思いから、昨年度より光明第一保育園の園児にバレ
エを披露してくださっている。

4月17日、78回目の創立記念日を迎え、京王プラザホテル八王子にて、福祉関係者、後援会、ボランティア、職員等
総勢241名にて祝賀会を開催。新入職員が歓迎の拍手で迎
えられ、緊張の面持ちで入場。市長や各界のご来賓より激励
の言葉をいただき職員によるピアノ演奏や余興を楽しんだ。
今後も光明家族の皆様と歩んでまいります。



初宿八王子市長挨拶



理事長挨拶



国歌独奏



物故者法要



萩生田衆議院議員 代理



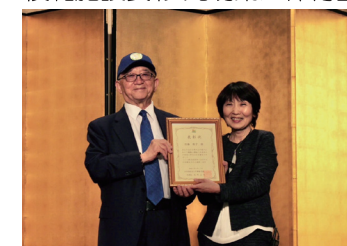
伊藤東京都議会議員



歓迎！新入職員



模範施設表彰 光明第六保育園



永年勤続表彰



特別賞 特別養護老人ホーム桜の里
開設以来初の満床

職員によるアトラクション

新入職員と今年度の光友会運営委員によるアトラクション「かわいいだけじゃだめですか？」の曲に合わせたダンス。出場者と会場が一体となり楽しいひと時に。これから各施設において園児、利用者様の支援に精一杯頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



祝 光友会結成60周年

60年前の昭和40年第二期高度成長期で未曾有の経済成長を記録した時代に、職員の福利厚生を目的に、当時学生であった足利正哲氏（現理事長）により結成。国内旅行や海外旅行、BBQ等の親睦会が行われた。今では、福利厚生団体として職員のリフレッシュや親睦を深めるために、実行委員会を中心に様々な企画が行われている。



60th Anniversary KOYUKAI

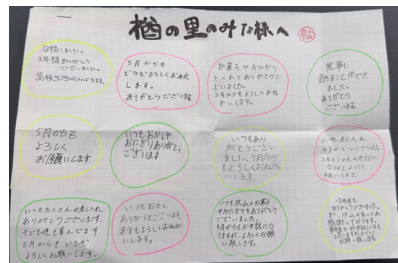
光明八木町食堂再開

新型コロナウイルス感染症の発生により令和2年2月から休止した光明八木町食堂。その間は、民生委員や後援会の皆様の温かなご支援により、手作りのお弁当を配食することができました。令和6年度は配食を継続しつつ、子どもたちの居場所となりますことを願い、8月より食堂を再開。「笑顔で食事をしている様子を見ることができてうれしい」「自分も地域の一員としてお手伝いできてよかった」と参加職員の心も温くなりました。



無料塾への会場提供

八王子市主催で実施されている無料塾に、会場として檜の里の多目的ホールを提供。令和7年度は、18名の中学生が登録。職員が夜食のおにぎりを握って子どもたちの学習を応援。満面の笑顔と「おにぎりおいしかった！」の声が職員の励みになっています。



学生から届いたメッセージ



おにぎりで応援



生活困窮者訓練事業

平成30年から各市の生活自立支援課と法人全体で連携して取り組んできた生活困窮者就労訓練事業。就労訓練者は自身のできることを行いつつ社会復帰に向けお仕事を。施設にとっては、手が行き届かない部分の清掃等を一緒に行っていただけることで、お互いに感謝の気持ち。働くことに自信を持ち地域の中で自立した生活ができるように、引き続きお手伝いをさせていただきます。



お掃除をする姿を見て園児もお手伝い



特集

地域の大きな家

【連携

地域と共に】

光明第六

(光明第六保育園)

なつまつりやハロウィン、近くの畑での芋ほり、誰もが利用できるみんな食堂などに地域の方をお誘い。又、年長、年中園児は、地域の伝統文化であるお囃子を町会のお囃子部の方々に習い、地域のお祭りや園行事等で披露。「暑い中、頑張ったね」と、お囃子部の方に褒められ、達成感を感じ、就学後も会館に通う子も。大切な文化を継承しています。



敬老会



地域の祭りに参加



育児講座



光明桜

(光明第七こども園・特別養護老人ホーム桜の里)

地域との関りが温かな「光明桜」。日常的に開催のお茶会では、施設の車でお迎えに行きます。「自分で歩いていくことは難しいけれど、お迎えに来てくれるから、子どもたちや仲間たちにあえる」と嬉しい言葉をいただいています。地域のイベントでは「ステージに出演して」「出店頼むよ」など声をかけられることもしばしば。互いに支えあい共に地域を盛り上げる環境に感謝しています。



ステージ出演



模擬店に出店



地域の皆様とお茶会を開催



鑑水の里

(光華・精華)

きくらげ

地域の夏祭りに利用者が作った品物や栽培した木耳を販売したり、施設の納涼祭や作品展に地域の方を誘ったり、少しずつ以前の風景に戻ってきました。利用者様が地域と関わりながら、充実した日々を送れるよう今後も地域との交流機会を増やしていきます。又、「御殿峠プロジェクト」では、鑑水の里を明るく、楽しく、皆が集える場所になるよう活動を進めています。



自治会祭りに参加



ボランティアの方と職員の共演



作品展



御殿峠プロジェクト

連載「光明」⑦

光明第三保育園の誕生

前史その二

「さて、あなた様はお若いのに、お上がなさる学校の子供より、もっと小さい子を集めて教えてやるとは何とご立派なお方だろう。神様仏様のお使なのだろう。分かりました。一反歩でいいですね。本当はたゞで差し上げなければいけないのですが、ご覧の通りの水呑み百姓。若しお願い出来たら、私が五年前に買った値で、その一部分だけのお金を私に恵んで下されないでしょうか。その上、あつかましいですが、そこに家を建てて庭をつくられるなら、木を切るでしょう、その木を私に切らせて薪を恵んで下されれば、この上の幸せはありません」「土地の値段も上がっていますが、その時の値のまゝでいいのですか。木はどうぞ」全く仏様の御加護で、仏様のような地主様、井上庄之助様の名は終生忘れず。今日も多摩第一老人ホーム事務所入口の「松の木」を庄之助松と名付けて、大恩を忘れぬようにと正明は、朝夕合掌して来たが、今の後の者どもは如何であろう。この人があったので第三保育園は生まれた。「庄之助様に申し訳無いぞ」と正明は、続いて園舎を新築するにも、ひ弱な体ながら、土方や大工の手伝いをして、少しでも安く仕上がるようにと毎日励んだ。

（「光明」第160号平成9年11月15日より転載）

光明学園の精進料理創刊

元大本山總持寺典座であり、永昌院東堂であられる坪川民主老師ご指導のもと、平成30年より光明学園でも月1回の給食に精進料理を提供。子どもたちは心待ちにしています。数あるメニューの中から、人気メニューを掲載したレシピ集がこの度完成！3月27日に完成を記念して、奉呈式を挙行。光明学園では各園閲覧コーナーがあります。ぜひ、ご一読ください。



令和7年度光明塾

楽しく学びながら、仲間作りや生きがい作りを目指しスタートした光明塾。今年開塾より9年を迎えました。今年度も皆様のご参加をお待ちしております。

【前期開催予定】

4/24 5/22 6/26
7/24 9/25 10時〜12時

問い合わせ先…法人本部

電話…042-623-3388



新任管理職紹介（好きな言葉）

○法人本部 管理部部長

豊田 聡 （継続は力なり）

○特別養護老人ホーム桜の里施設長
室谷 弘之 （努力は裏切らない）

○八王子市立石川保育園 園長
齊藤 登美子（神様は乗り越えられない
試練は与えない）

多摩養育園で一緒に働きませんか

随時見学受付中！給与や待遇など、詳細はこちらから

保育士
保育教諭



介護職員



題字・表紙写真 足利正哲

編 集 後 記

現在、福祉の現場は、少子高齢化社会と人材不足が深刻な課題となっております。4月1日には、多摩養育園の各施設に、26人の新入職員が希望を胸に社会人として、第一歩を踏み出しました。当法人は本年、創立78周年を迎えます。福祉を志す新入職員の心を育てていくことは法人の力となり、地域の財産にも繋がります。今年度も人材育成及び皆様が安心して利用できる運営を行ってまいります。

広報紙編集委員会